

GABAの生理機能 その9-成長ホルモンの分泌及び脂肪燃焼に与える影響

○堀江 健二、東口 伸二、山田 貴史¹、横越 英彦²、金 武祚（ファーマフーズ研究所、¹静岡県大院・生活健康、²静大・食栄科）

【目的】

我々はこれまでに、乳酸菌発酵技術を用いたGABA高含有食品素材『ファーマギャバ』による生理機能(その1-8)の報告を行った(1)。特に、昨年度の本大会では、成長ホルモン(GH)に与える影響について報告した。また、GH分泌促進に伴う脂肪燃焼効果についても同時に報告した。そこで本大会では、近年注目されている『脂肪燃焼系のアミノ酸』とファーマギャバによるGHの分泌促進効果並びに脂肪燃焼効果を比較検討したので報告する。

【方法と結果】

ウィスター系雄ラット(体重100g前後)を用いて、ファーマギャバ(GABAとして100mg/100g体重)を投与した。また各アミノ酸(Arg、Orn、Lys、Ala、Pro、Met)も同様(100mg/100g体重)に投与し、ラットGHに与える影響並びに血中の中性脂肪、遊離脂肪酸に与える影響を比較検討した。その結果、ラットGHに与える影響はファーマギャバ投与群が最も高く、その程度は次いで効果の認められたAlaの約1.5倍の効果であった。血中脂質量の変化などについても考察する。(1)日本農芸化学大会講演要旨

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・